

# CAGLIERO 11

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.87 - 2016年3月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



## 兄

弟の皆さん、友人の皆さん、

ストレンナ2016の光に導かれ、イエスと一緒に、聖霊のうちにこの宣教の冒険を、私たちは共に歩みます。そのために、総長は今年、自分たち自身と若者を教育するよう招いています。耳を傾け、沈黙を味わうこと、驚きという感動に心を開く観想の力を培い、感嘆する心を持つこと、そのための教育です。「これらの能力を身につけることを提案し、実践的に練習するべきです」とアンヘル神父は言っています。

偉大な宣教師たちが熱心な観想者であったと同時に、偉大な観想家たちのように日常の生活を宣教の精神に満ちて生きたことに、私たちは常に感銘を受けます。聖フランシスコ・ザビエルや幼きイエスの聖テレジア、あるいは私たちにより身近な聖ルイジ・ヴェルシリア、聖カリスト・カラヴァリオ、ルイジ・ボッラ神父を思い出してください。

もう少し沈黙の祈りが私たちにあったなら、より多くの宣教師の召命が生まれるのではないのでしょうか？ インドの二つの宣教志願院（シラジュリとペルナンブル）において、惜しみない心の若者たちの養成プログラムの中で、個人の祈り、レクツィオ・ディヴィナ、日々の黙想が、非常に戦略的な位置を占めているのを目にするのは-そして‘現場で’それを味わうのも！-興味深いことです。

聖霊の冒険を続けましょう！

宣教師顧問  
ギジェルモ・バサニェス神父



## 宣教司牧奉仕を学ぶ生涯養成コース



ローマの教皇庁立サレジオ大学神学部はサレジオ会宣教部門の協力を得て、2016年9月26日から12月15日にかけて、宣教司牧奉仕を学ぶ第20回生涯養成コースを開講します。

このコースは、活動や講義、分かち合いや振り返りの機会を含むさまざまな取り組みを通して、個人の成長、キリスト教のメッセージを深めること、そして司牧奉仕の刷新のためのプログラムを提供します。

サレジオ会員の受講生の場合、コースはサレジオの聖地への巡礼と、ヴァルドッコでの第147回宣教派遣メンバーへの宣教の十字架授与式への参加をもって始まります。最後の週は、聖書学的、キリスト論的テーマを深めるため、聖地を巡礼します。

講義の言語はイタリア語です。そのため、イタリア語を習得していない人は、各人の必要に応じて6月からの語学コースを受講するよう求められます。サレジオ会員は、宣教部門のマルトン・ラサルト神父と連絡を取ってください (mlasarte@sdb.org)。

Roma 26 Settembre - 15 Dicembre 2016

# I NUOVI CONTESTI DELLA MISSIONE

NUOVI MOVIMENTI RELIGIOSI  
MONDO GIOVANILE • MIGRAZIONI  
EMERGENZE UMANE



## SDBとFMA、教育する福音宣教者育成のために共に働く

パプアニューギニアのポートモレスビーにあるドン・ボスコ技術訓練校 (DBTI) は、技術系教員育成のための高等教育機関です。ここでは、サレジオ会員とサレジアン・シスターズが協力し、技術系教員、中等教育の教員となる若者たちを育てています。

目標は、社会の中で仕えるリーダー (ヨハネ 13・13-14) となるよう生徒を養成することです。生徒たちの多くはキリスト教のさまざまな宗派に属していますが、中には両親が別々のキリスト教宗派に所属するという家庭の子どももいれば、洗礼さえ受けていない生徒もいます。その多くはやがて洗礼を受けることを希望します。

将来の教育者のために、要理教育や予防教育法、サレジオ青少年司牧などの科目もあります。生徒たちは教会の社会教説を学ぶだけでなく、貧しい人々のための奉仕活動も体験

DBTIでは生徒がキリストに出会うため案として差し出しています。

毎年恒例のユース・キャンプは若者に与えられている賜物や才能を表現する場になった地域奉仕活動も、若者の全人的養成に役る体験の機会もあります。また、サレジオブ活動も、若者が関心を持つ事柄や、人関わりのある福音的価値を提案する機会

キャンパスではカトリックのアイデンキャンパスの中央にキリスト者の扶け聖マが育まれる機会になっています。生徒たちはるしの秘跡を受けることができます。また望むなら、毎朝のミサにあずかることもできます。

サレジオ会員、サレジアン・シスターズ、コオペラトリー、同窓生、協働者、生徒たちの間にある家庭的精神のあかしは第一次福音宣教の力強い手段になり、イエス・キリストとその福音への関心と呼び覚ましています。文化的な多様性の中で絶えず一致を築き上げようとする教育司牧共同体全体が、交わりへの招き、兄弟愛の預言となっています。

喜びのうちに仕え、献身的に働こうとするサレジオ会員とサレジアン・シスターズの継続的な努力は家庭的な体験となり、組織の円滑な運営に寄与し、家庭的環境を育み、その中で教育的成果が上がり、生徒たちは有能な教育者になるだけでなく、同朋への福音宣教者となるよう養成されているのです！



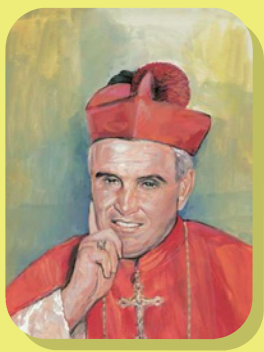
します。

の場、機会、体験を、さまざまな司牧的提

とって大変魅力的です。若者たちが与えられているからです。勉強会やグループ活動、立っています。聖書を読んで祈り、振り返の青少年霊性に触発された若者のグループ間として、キリスト者として成長する歩みになります。

ティティーが堅持され、促進されています。リア教会があることにより、マリアへの信心ここに聖体を訪問することができ、日常的にゆ

フィリピン出身、パプアニューギニアの宣教師  
シスター・パメラ・ヴェシーナ, FMA



### サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエル・ルイジ・カメローニ神父

インドの宣教師、扶助者聖マリア宣教会創立者、神の僕モンシヨール・ステファノ・フェツランド (1885-1978) は叙階されたばかりの司教として、総長ピエトロ・リカルド・ネ神父に書き送っています。「愛する父である総長様、11月10日に私は司教に叙階されました。私のうちにご自身のあわれみが輝き出るために、私の小ささに目を注がれた全能の神を私は祝福します。私は司教、サレジオ会員の司教です、そしてわが母である、私がすべてを頂いた会に敬意を表すことのほか、何も望んでいません[...] 総長様の父の心に、愛するクリシュナガラルの宣教地をゆだねるばかりです。」



### サレジオ会の宣教の意向 3月

サレジオ家族がどこでもキリスト者の家庭にとって、確かで信頼できる、実り豊かなインスピレーションの源でありますように。

ドン・ボスコのカリスマ(世に仕える教会を造り上げるために、神から与えられる多様な賜物)は、家庭の中に生まれました:マンマ・マルグリータの存在に支えられ、照らし導かれたベッキの家庭;私たちの父、創立者によって、若者のためという明確な視点をもって確かな歩みのうちに育まれた、ヴァルドッコの家庭です。最近の2回にわたる家庭のシノドスで注目された課題は、差し迫った責任の意識をサレジオ家族のメンバーのうちに強めました。あらゆる大陸の若者たちと、結婚・家庭の召命を発見するすばらしい歩みを共にし、しっかりとしたキリスト者の家庭を作る道のりを支えるものになるという責任です。

